現場に根ざしたカカオ支援の実践 ～ガーナの事例から～

持続可能なカカオ栽培と生産者支援の取り組みについて、ガーナでの実践事例を中心に紹介。

株式会社　立花商店
カカオトレーダー　生田　渉

Made with GAMMA

立花商店のご紹介

カカオ豆やカカオ製品　（マス、バター、パウダー等）を中心とした製菓材料を取り扱う専門商社。

設立年：1947年12月
売上：109億円（2024年3月）*日本単体
所属等：FCC, WCF, CMCライセンス、日本チョコレートココア協会賛助会員、ACP部会員

グループ会社：
橘香料（大阪）
クラウン製菓（東京・チョコレートOEMメーカー）

海外拠点：
Tachibana International（売上：USD 105million）
Tachibana International Ghana
Tachibana International Guinea
Tachibana International Netherlands
Criollo Branco Trading

Made with GAMMA

立花商店のビジネスモデル

ソーシャルトレーディングカンパニー

サプライチェーン全体をカバー

カカオの栽培からチョコレートの製造までに精通している

グローバルな事業展開

全世界を対象として仕入れと販売を行う

幅広い品質対応

最高級から不良豆（ダメージ製品）まで取り扱う

マイナー国支援

カカオ栽培に力を入れるマイナー国を支援し、リーダー的存在になる

th GAMMA

Cocoa Futures・1月・ICEUS
D
−588 (−6.55%)
8,381
売り
7
8,388
買い
カカオ相場場2024年から歴史上例を見ない高騰し、現在も高値水準が継続
USD
t
11,000
10,000
9,000
8,389
1d 5h
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
TradingView
1983
1986
1989
1992
1995
1998
2001
2004
2007
2010
2013
2016
2019
2022
2025

カカオショックの背景

近年、カカオ市場は「カカオショック」と呼ばれる未曾有の危機に直面した。その背景には複数の要因が複合的に絡み合っている。

1 生産量の減少

- **生産地の天候異変**：エルニーニョや気候変動による干ばつ、異常降雨がカカオの生育に悪影響を与えている
- **病害の深刻化**：コートジボワールやガーナで深刻なカカオ腫れ芽ウイルス病（CSSVD）や害虫の蔓延が収穫量を大幅に減少させている。
- **労働力不足・農家の高齢化**：若年層の都市部流出と農家の高齢化が進み、生産性向上が困難になっている。
- **金の違法採掘**：カカオ農園での違法な金採掘が、農地の破壊とカカオ生産の中断を引き起こしている。

2 需要の増加と産業構造の脆弱さ

- **人口増加と健康志向**：世界的な人口増加と、カカオが持つ健康効果への注目が高まり、カカオ豆の需要が増加している。
- **生産国の産業構造の脆弱さ**：ガーナなどの主要生産国における政府買取制度の実質的な崩壊が、農家のモチベーション低下と生産基盤の不安定化を招いている。
- **投機マネーの流入**：世界的なカネ余りにより、カカオ市場への投資家の投機マネー流入が増加し、価格の変動を一層激しくしている。

Made with GAMMA

海外法人の役割と活動内容

【主要産地のガーナ】
政府の独占事業だが、資金難で出来ないことが年々増加。

【カカオの開発を目指すギニア】
・国全体のカカオ産業を育てる仕事
・森林地域でのカカオ栽培の在り方を模索

【アジアでの生産基盤の拡大】
・アフリカ頼みの供給体制からの脱却
・味の多角化を目指す。

TACHIBANA INTERNATIONAL GHANA

ガーナでの事例

ガーナカカオのサプライチェーンを管理支援、または投資などを行う現地法人を設立。

***カカオの輸出は政府の独占事業の為、輸出は出来ない。**

TACHIBANA INTERNATIONAL GUNIEA

ギニア共和国での事例

首都コナクリにカカオの豆の輸出企業を2022年に設立。日系唯一の食品系企業として国全体のカカオ生産の拡大と、カカオのサプライチェーン構築を目的としている。

CRIOLLO BRANCO TRADING

フィリピンでの事例

- 絶滅リスクなったカカオの原種であるクリオロ品種の保全と栽培、拡大（セブ島）
- カカオ生産者からのカカオ豆の買い付け、品質管理、輸出事業（ダバオ/ミンダナオ島）

その国のカカオ産業の成熟度によって求められる役割が異なる。その国の特徴と市場の要望のギャップを埋める事が事業の目的

Made with GAMMA

ガーナでの生産者支援の枠組み

TACHIBANA-ASSIN FRRMNERS UNION（生産者農業協同組合）

カカオの生産者を束ねて生産者共同組織（２０００名規模）を組織化

TACHIBANA INTERNATIONAL GHANA(営利法人）

ガーナでのビジネスを実行する

EN FARMERS（NGO）

CSRプロジェクトなどの実行を担当

３組織が同じグループ組織として共同で動くことで、重複業務をなくし、透明性の高い活動を実現する

Made with GAMMA

ガーナでの生産者支援の活動内容

①顧客であるチョコレートメーカー様の支援プログラムを提案＆実行
②立花商店独自での生産者支援プログラムを立案＆実行

児童労働対策

学校への学用品支援、CLSPの組成、研修の実施、通学のモニタリング等

カカオの生産性改善

肥料、農薬の無償配布、剪定指導、バイオ炭の製造指導及び仕様、収穫労働支援

村のインフラ支援

井戸の建設、学校の建設、補修、ICTセンターの建設

生産者の所得向上支援

貯蓄共同組合、収入向上の為の小規模ビジネス

Made with GAMMA

①顧客企業とのプログラム：生産性改善　殺虫剤(Akate Brafo)の配布

①顧客企業とのプログラム
村のインフラ支援：ICTセンター：外壁の塗り替え、天井の張り替え、床の張り替え。

軽量の農薬散布機

GAPトレーニング

シェードツリーの苗木

女性グループに対する所得創出活動

②独自のプログラム：立花商店/EN FARMERSの活動実績：VSLAの設立

2025年7月に、Assin Tachibana Unionの25の全ての生産者組合(35コミュニティ)にVSLA(村落貯蓄融資組合)の設立が完了。現在2,400名を超える農家が所属。12のグループでは既に40,000GHS(約60万円)が貯まり、VSLAメンバーに対して融資を開始している。融資により、商売を始めたり、教育費を工面したり、農業資材調達をしたりと、大きな変化を生み出している。今後も、VSLAを中心にIGA(収入創出活動)などの支援を実施予定。

②独自のプログラム：立花商店/EN FARMERSの活動実績：4つの電気ポンプ式井戸の建設

2025年8月末までに、Akwatey1&2、Subinso、Akwasi Adu、Amoaningの4つのコミュニティに電気ポンプ式井戸が完工予定。

②独自のプログラム：EN FARMERSの活動実績：マラリア検査キットと治療薬の支援

東京科学大学（旧東京医科歯科大学）からの35コミュニティ向けにマラリア検査キットと治療薬350個ずつ寄付を頂いた。本年は、愛媛大学とファーストエイドボックスの中身を拡充するための取り組みを実施予定。

②独自のプログラム：EN FARMERSの活動実績：市場指向型農業による収入の多角化支援

JICAのSHEP(市場指向型農業)のトレーニングを、Assin South District/Assin Fosu Municipal Assembly/Assin Northの農業普及員に受けてもらい、2025年6月にAssin Tachibana Unionのリーダーたちを対象にトレーニングを実施した。今後、希望するコミュニティで、IGA(収入創出活動)として野菜作りによる収入の多角化に取り組んでいく。

EUDRの影響：森林破壊抑制の効果

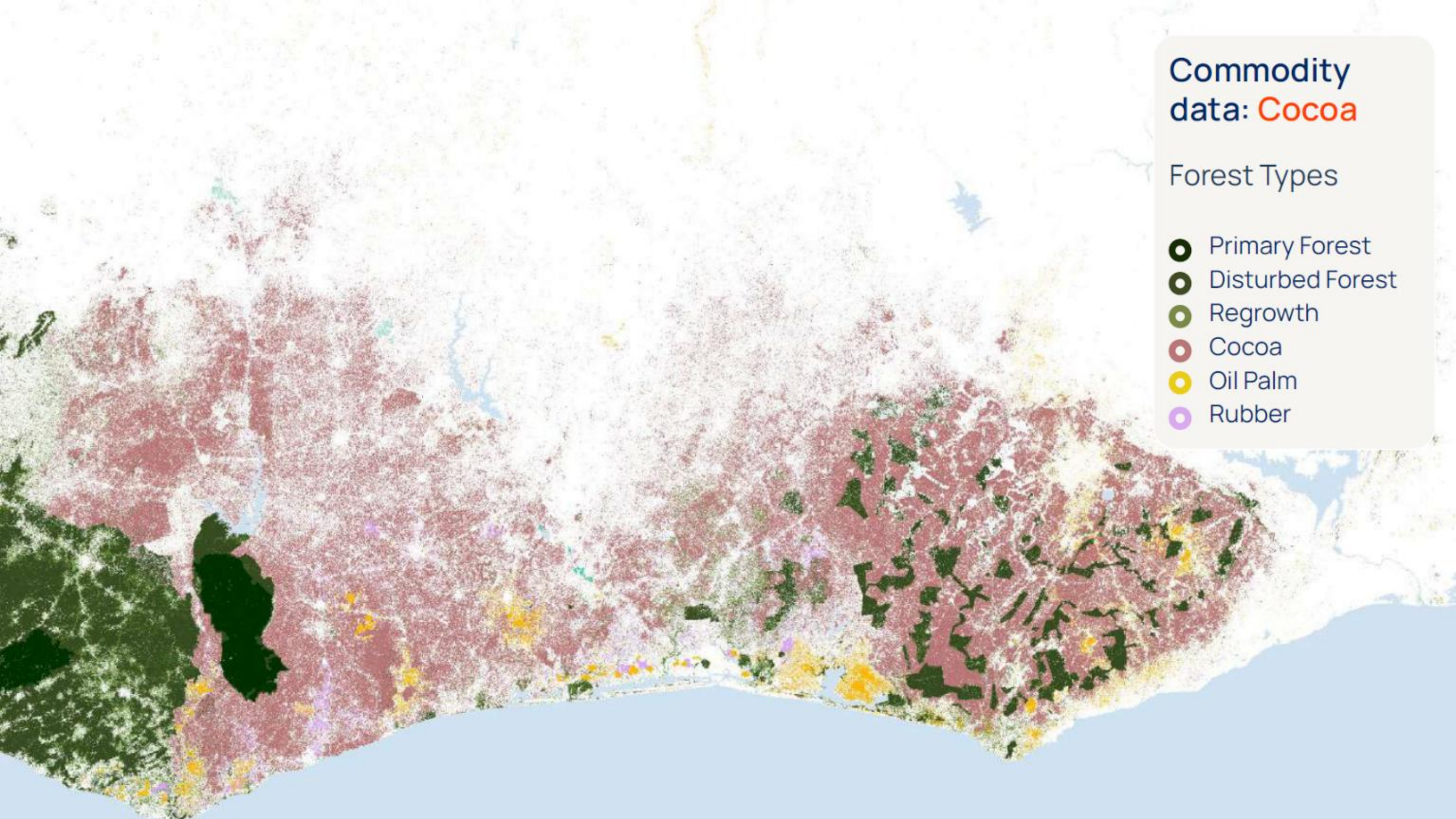
効果があるとされる点

- サプライチェーン全体にトレーサビリティと衛星データによる監視が導入される
- 特に大規模農園では違法伐採や新規開墾を抑制する動きが出る可能性がある
- 世界の主要市場（EU）がこの基準を課すことで、他の先進国も追随する可能性

限界・懸念

- EUに輸出されない作物には適用されないため、「リークエージ効果」が起こる可能性
- EUDRが規制するのは「一次産品」までで、最終製品の監視や複雑な加工品については不透明

Made with GAMMA


Commodity data: Cocoa
Forest Types
Primary Forest
Disturbed Forest
Regrowth
Cocoa
Oil Palm
Rubber

カカオ価格は更に複雑でより高く

先物をベースに決められるカカオの価格に、様々な要因が追加され、
その構造はより複雑になっています。

先物価格 (ベース価格)

カカオの基本となる市場価格。

カントリーディファレンシャル

生産国の品質に応じて追加される価格。

リビングインカムディファレンシャル (LID)

コートジボワールとガーナが共同で定めた、農家支援のための補助金。

認証プレミアム

レインフォレスト認証やフェアトレード認証など、特定の認証により加算される追加料金。

EUDRプレミアム

EUDRの要件を満たすデータが付属したカカオに加算されるプレミアム。

最終的に、これら様々な取り組みの費用は原料原価に反映され、カカオショックで高騰したカカオ価格のさらなる価格上昇要因となっています。最終的なコストは原料コストから最終製品のコストに反映され、一般消費者が負担。

EUDRとアフリカ諸国の経済発展

小規模農家への影響

小規模農家や零細事業者は、EUDRが要求するGPSデータ提供やトレーサビリティ対応に対応できず、輸出機会を失う懸念がある

市場構造の変化

大手企業による寡占が進み、既存の不平等が加速する可能性が指摘されている

経済的インセンティブの不一致

国や地域によっては、EU向けの「サステナブル」作物よりも、インフラ建設や鉱山開発の方が経済的価値が高く見えるため、森林保全インセンティブにならないケースもある

アグロフォレストリーの扱い

EUDRは「森林→農地への転換」が2020年12月以降に行われていれば、たとえアグロフォレストリー的手法であっても「森林破壊」とみなす可能性がある

Made with GAMMA

例）経済発展との摩擦構造　ギニアカカオとEUDR

ギニアの現状と目標

- 西アフリカの中でも森林が多く、自然資源が豊か
- 近年、カカオ・コーヒーの生産振興策を進めている
- 国際市場（特にEU）への輸出を通じた外貨獲得と雇用創出を期待している

EUDRの問題点

- 2020年12月以降に森林→農地に転換した土地での生産は「森林破壊産品」とみなされる
- アグロフォレストリーであっても、形式的には「農地化」とされ、非適格と判断される可能性が高い
- ギニアが将来開墾する森林エリアでの持続可能な農業すらEU市場にアクセスできないリスクがある

↓

投資の抑制

EU市場にアクセスできない土地では、海外企業が農業投資を控える可能性

↓

雇用創出機会減少

農業部門の発展が止まり、農村部の貧困が固定化する恐れ

↓

国家収入の減少

コーヒー・カカオの外貨収入を得られない場合、国家財政への波及も

アグロフォレストリーの技術的課題

アグロフォレストリーの環境的メリット

- 土壌保全、水資源管理、生物多様性保護
- 二酸化炭素の吸収（炭素クレジットの対象にもなる）
- 気候変動適応型農業として国際的に推奨されている

EUDRの技術的定義の問題

EUDRの技術的定義が硬直的で、「森林」の定義をFAO（国連食糧農業機関）に基づく被覆率・樹高・面積などで一律に適用しているため、アグロフォレストリーは"農業利用地"とされてしまう。

本来、アグロフォレストリーは森林破壊の代替手段とされているにもかかわらず、EUDRの定義では適切に評価されない矛盾が生じている。

参考）
EUDRと土地利用に対する主権の問題

懸念の正当性

- 個人や国家の主権として「自国の土地をどう使うか」は重要な権利
- EUが外国の土地利用を間接的に制限することで、「経済的強制」との批判が国際的に出ている
- 特に歴史的に植民地主義を受けてきたアフリカ諸国にとって、「持続可能性」の名のもとで土地利用を指示されることは、道徳的・政治的な抵抗を招く可能性がある

EU側の論理

「制限しているわけではない、輸出先の規制に適応するかどうかは生産者次第」という立場である。ただし、実質的に生産者に規制対応を強いることになる。

Made with GAMMA